

しあわせ南流

南流山地区社会福祉協議会
広報部会事務局
会長 市川 誠
南流山 8-6-1-1-705
TEL 7140-7152

『いきいきシニアの会』 10月20日(日)に開催

南流山小学校区にお住まいの70歳以上(誕生日が昭和24年4月1日以前)の皆様をご招待し、地域の子ども達やボランティアの皆さんによる演奏や演芸など、そして昼食を楽しんでいただく「いきいきシニアの会」を令和元年10月20日に開催します。ご高齢の皆様の住み慣れた地域での暮らしをサポートする南部地域包括支援センターの出張相談窓口もあります。

招待状は9月下旬よりお届けします。なお、開催日が台風などによる悪天候が想定される場合、中止もありますのでご了承ください。

南流山地区社会福祉協議会主催・流山市後援
第16回いきいきシニアの会

日時：10月20日(日)

午前10時～午後1時

(受付は午前9時30分から)

場所：南流山センター 大ホール(2階)

備考：対象となる方で招待状が届かないようでしたら
当日、受付へお申し出の上、ご参加ください。

南部地域包括支援センター

平成18年4月施行の「[介護保険法](#)」の改正で誕生した地域包括支援センター、南流山小学校区は流山市南部地域包括支援センター(流山市ケアセンター2階)が窓口となります。平成27年より『高齢者なんでも相談室』とも呼ばれるようになった地域包括支援センターは保健師や看護師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などの専門職で構成され、介護予防プラン作成の手伝い、介護や福祉に関する相談への対応、高齢者を支える地域づくりの推進、成年後見や虐待防止など、高齢者の権利擁護に関する業務を行なっています。様々な相談に対応していますのでご利用ください。

【問合せ先 ☎ 7159-9981】

「ふれあいサロン」のご案内

南流山のボランティア団体『水仙の会』(平成5年7月発足)による「ふれあいサロン」が、8月を除く毎月第3月曜日の午前10時30分から午後2時まで南流山自治会館で開催されています。この会にご高齢の皆様には体操、歌、カラオケ、ゲーム、会食などで楽しい時間を

過ごしていただけます。昼食として300円(7月の暑気払いと12月のクリスマスは500円)を参加費としていただいています。

事前申込みは不要ですのでお気軽にご参加ください。

南流山自治会は第1・第4の月曜日の午前10時30分から午後4時まで南流山自治会館の開放日とし、地域の皆さんにお気軽にお立ち寄りいただけるようにしています。こちらもご利用ください。

「南流山ひまわり会」のご案内

民生委員、地域のボランティアのメンバーを中心に平成20年に発足のボランティア組織『南流山ひまわり会』(市民登録団体)の協力で、当地区社協は「流山市高齢者セーフティネット活動支援事業」(平成27年度に「流山市独居高齢者等の訪問活動支援事業」から改正・改称)に取り組んでいます。

この事業は地域でお暮らしの概ね65歳以上の方(夫婦でお暮しても健康等に不安をお持ちの方を含む)を対象に訪問・見守り等の活動を行うものです。『南流山ひまわり会』は「1. 「お元気いかがい」として玄関先に訪問させていただき、地域との繋がりを支援」、「2. お住まいの外から「見守り」、「3. 困ったことが起きた時の連絡役」の活動をしています。サービスを利用されたい方は、「いきいきシニアの会」の招待状に同封の『南流山ひまわり会』の依頼書に利用したいサービスと必要事項を記入して返信用封筒でご投函ください。

なお、「いきいきシニアの会」の招待状配布は前述のように70歳以上となるため、70歳未満でサービスを利用されたい方は『南流山ひまわり会』(会長 牧野欽治、☎ 090-2557-6538)までご連絡ください。また、『南流山ひまわり会』のメンバーとなってお協力いただける方からの連絡もお待ちしています。

長寿会、寿楽会のご案内

南流山地区社協の活動する南流山小学校区に長寿会、寿楽会の2つの会があり、地区社協のメンバーとしても活動しています。長寿会は木地区に居住する方、寿楽会はそれ以外の南流山小学校区に居住する方を対象とし、自治会員である必要はありません。長寿会は毎月の食事会等の開催、寿楽会は隔月の懇親会、年2回の旅行会、毎週のグラウンドゴルフ大会、そして清掃奉仕活動などを行っています。これらの会にご関心ある方は当地区社協(☎ 7140-7152)までお問合せください。

医学関係の博物館

『しあわせ南流』(第70号(平成31年2月))で埼玉県の福祉用具関係の大規模展示施設「[介護すまいる館](#)」を紹介しました。本号では東京都文京区本郷にある医学関係の博物館等を紹介します。見学を通して医学を身近に感じ、病気への理解を深めていただけたら幸いです。

健康と医学の博物館



「健康と医学の博物館」(☎03-5841-0813)は東京大学本郷キャンパスに東京大学医学部・医学部附属病院創立150周年記念事業の一環として平成23年1月開館し、今年4月に東大病院・南研究棟1階にリニューアルオープンしました。休館日は毎週水曜日(水曜を含め祝日は開館)と年末年始(12月29日～1月3日)で開館時間は10:00～17:00(最終入場16:30)で千代田線の湯島駅または根津駅から徒歩約12分です。

同大学医学部・附属病院の160年の歴史は日本の医学の歴史とも深く関係します。この博物館では常設展として歴史に関するもの、企画展「医療の今を知る」としてロコモティブシンドローム(運動器症候群；「ロコモ度判定」の体験型展示あり)や人工関節、ウィルス・菌・寄生虫(絵本展示あり)、生活習慣病(糖尿病と腎臓病)、心臓や血管(循環器)の病気、大腸がん・乳がん・胃がん、そして特別展『私たちのこころの医学』では乳児期～学童期、思春期・青年期、成人期にわけて心の発達やその疾患について展示を通して紹介されます。

日本医学教育歴史館

国立科学博物館で平成23年2月～4月に開催の『医学教育史展 - 歴史で見る日本の医師の作り方 -』の内容を保存して更に充実したものとして、JR 御茶の水駅近くの順天堂大学のセンチュリータワー17階に「順天堂大学日本医学教育歴史館」が平成26年4月に開設されました。開館は毎週火・木曜日(祝日、年末・年始、大学創立記念日(5月15日)等は休館)の午後1時～3時で1週間前迄に予約(☎03-5802-1730；受付時間10:00～12:00、14:00～16:00)が必要です。

東洋学園史料室

東洋学園大学の流山キャンパスは2018年に閉じ、本郷キャンパスに集約されました。東洋学園大学の前身は歯科の分野の女性の専門職を育てることを目的に1926年創立の東洋女子歯科医学専門学校で、戦後の連合軍の歯科医学教育・医療制度の改革からその路を断たれ、東洋女子短期大学として再出発し、今日に至ります。丸ノ内線の本郷三丁目駅から徒歩3分の本郷キャンパス4号館に東洋学園史料室(開館：月～金曜日、9時30分～16時30分、☎03-3811-1783)があり、11月1日まで「本郷キャンパス100年・流山キャンパス50年の記録」が開催中です(11月2日より移転のために休館。2020年4～5月に公開予定)。

江戸時代の小石川養生所・御薬園跡が、丸ノ内線の茗荷谷駅から徒歩約15分の東京大学の植物学の教育実習施設の[小石川植物園](#)です(入園料400円；月曜休園；☎03-3814-0138)。移築された旧東京医学校本館([建築ミュージアム](#))で建築関係の展示も楽しめます。

台風への備えについて

2018年9月の台風21号で関西電力管内(2府6県)で延べ約225万戸に及び大規模停電があり、全面復旧迄に16日間を要しました。同年9月の北海道胆振東部地震では北海道全域にわたる停電が起きました。そして今年の台風15号によって9月9日、東京電力管内の茨城県、千葉県、神奈川県、静岡県で約93万戸が停電となり、9月15日時点で千葉県東部の約13万戸が停電、2万戸が断水状態のままで、通信できないこと等を含めて被災地では大変な思いをされています。

毎年、確実に襲来する台風による停電、断水に備え、水・食料の備蓄(調理用のカセットコンロを含む)、水洗しないで使うトイレ処理セット等の準備の必要性を再認識させられます。以下に夜の停電に対するベッド近くの備えを参考として紹介します。

【停電の備え】

- ・懐中電灯(消費電力の少ないLEDライト)と予備の乾電池
- ・スリッパ(地震で停電となり、床に落ちているもので怪我をするのを防ぐため)
- ・眼鏡(眼鏡を使用する方)
- ・手袋(床に落ちた危険物の移動のため)
- ・懐中電灯、スリッパ、手袋等を入れる袋
- ・ラジオ、あるいはラジオを聴くことのできるスマートフォン、「ワンセグテレビ」のついた携帯電話等
- ・スマートフォン等のためのモバイルバッテリー(充電状況を随時点検し、「いざ」という時に使えるように)
- ・紙幣と硬貨の現金(キャッシュコーナー停止の対応)